



**(株)マツキヨココカラ & カンパニーと(株)メディセオ
持続可能な社会を実現するための
新たな医療用医薬品流通最適化モデル構築に向けた取り組み
に関するお知らせ**

全国にドラッグストア・調剤薬局を展開する、株式会社マツキヨココカラ & カンパニー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：松本清雄、以下 マツキヨココカラ & カンパニー）は、2021年10月より株式会社メディパルホールディングス（東京都中央区、代表取締役社長：渡辺秀一）の子会社である株式会社メディセオ（東京都中央区、代表取締役社長：長福恭弘、以下 メディセオ）と、「持続可能な社会を実現するための新たな医療用医薬品流通最適化モデル構築の取り組み」（以下、本取り組みという）を開始いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 取り組みの背景と目的

マツキヨココカラ & カンパニーはサステナブル経営の実践に向け、5つのマテリアリティ（重要課題）を設定しており、そのひとつに「地球の健康を考える」を掲げています。環境負荷を低減し、地球の健康を維持するため、当社グループだけでなくステークホルダーの皆様と繋がりながら、低炭素社会への貢献・当社PB商品の環境配慮型へのシフト・事業を通じたエシカル消費の普及など、取り組みを進めてまいりました。

地球温暖化による気候変動が全世界的な課題となる中、企業が行う事業活動においてもSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の意識と行動がますます重要となっております。温暖化の主因であるCO₂の排出削減への積極的な取り組み、またそれに伴う医療用医薬品流通や関連業務の最適化の取り組みとして、この度、メディセオと本取り組みを開始いたしました。本取り組みにより各社にとって効率的なオペレーション体制を実現し、CO₂排出量の削減や、生産性の向上、働き方改革を進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2. 本取り組みの具体的内容

(1) CO₂排出量を削減

店舗ごとに最適な医療用医薬品の在庫量を分析、管理することで両社間の受発注・納品業務を減らし、車両燃料に起因するCO₂排出量を削減する。

(2) 生産性の向上に向けた取り組み

医療用医薬品の受発注、検品、棚詰めなどの作業を効率化し、物流に係る従業員の労働生産性を向上させるとともに、薬剤師の本来業務への時間を創出し、地域医療に貢献できる体制を構築する。

(3) 働き方改革に向けた取り組み

納品・検品の回数を大幅に減らすことをはじめ、両社で効率的な物流を追求することにより、多様化する働き方のニーズに対応できる環境を作る。

本取り組みで貢献可能な SDGs 目標

	すべての人に 健康と福祉を	医薬品などを全国に安定供給する事業を通じ、人々の健やかな暮らしを支えます。
	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	物流拠点の集約や配送回数の見直しなどにより、エネルギー効率を向上させます。
	働きがいも 経済成長も	検品や納品など物流に係る時間を短縮して、生産性向上を図るとともに、働く人の本来業務への時間を創出します。
	気候変動に 具体的な対策を	医薬品流通（発注・納品業務等）の適正化を通じて CO ₂ 排出量を削減します。
	パートナーシップで 目標を達成しよう	中期経営計画に「パートナーシップの構築」を掲げ、さまざまな企業との協業を推進します。

Find your “!” wOW

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

3,000 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を中核事業として、全国で展開している東証一部上場企業。子会社としてマツモトキヨシグループとココカラファイングループを擁し、「美と健康の分野でアジア No.1」の企業グループを目指しています。介護事業、インターネット通販事業など幅広く展開しています。

コーポレートサイト：<https://www.matsukiyococokara.com/>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー グループ経営企画統括 広報室

Tel：03-6672-7808

mail：mkccpr@matsukiyococokara.com

